

令和7年2月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

岡谷鋼機株式会社

令和6年9月30日

1. 連結経営成績
2. 連結財政状態
3. 株主還元
4. 設備投資
5. トピックス

1. 連結経営成績

- ・当中間期の売上高は前年同期比47億円減の5,398億円
- ・主に売上総利益の増加により純利益は6億円増の123億円
- ・当中間期末における連結子会社数は77社（国内40社、海外37社）

単位：億円

	令和6年2月期 中間期	令和7年2月期 中間期	前期比増減（増減率）
売上高	5,445	5,398	△47(△0.9%)
売上総利益	416	433	+17(+4.2%)
販売費及び一般管理費	255	261	+5(+2.1%)
営業利益	160	172	+12(+7.6%)
経常利益	177	190	+12(+6.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	117	123	+6(+5.2%)
1株当たり 当期純利益	612.36円	644.31円	+31.95円
期末人員	5,646名	6,471名	+825名

※1 単位未満を切捨てて表示しており、増減額が一致しないことがあります。

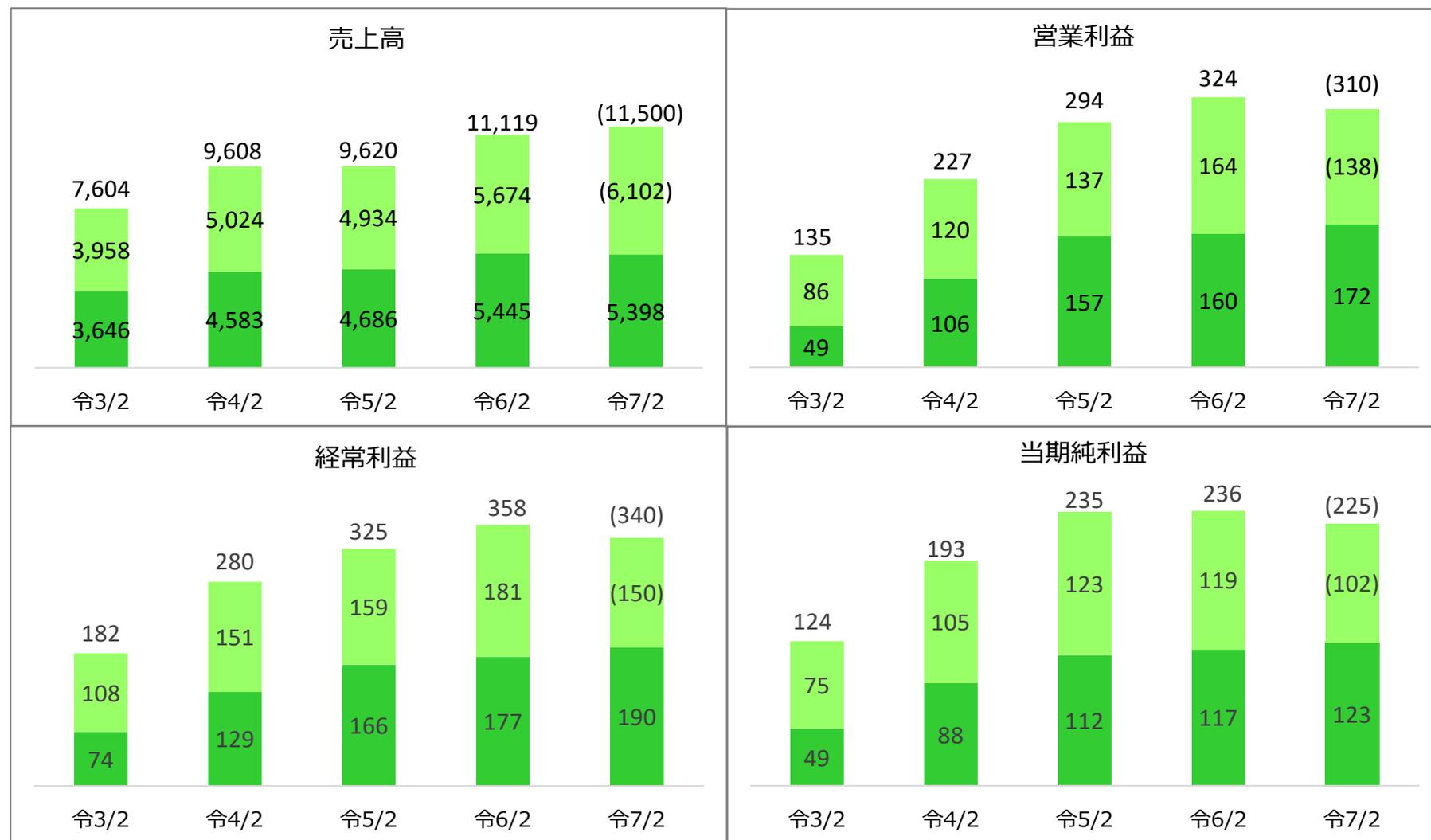
※2 当社は、令和6年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。
これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

連結子会社数	75社	77社	+2社
持分法適用会社数	19社	21社	+2社

1. 連結経営成績

■ 上期 ■ 下期

単位：億円



※1 令和5年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。

※2 単位未満を切捨てて表示しており、合計額が一致しないことがあります。

1. 連結経営成績<セグメント別>

<鉄鋼> 鉄鋼は建材関連、特殊鋼は産機向けが減少。海外は欧米向けが増加
 <情報・電機> エレクトロニクスは車載部品やFA関連が減少。非鉄金属は環境配慮型材料が増加
 <産業資材> メカトロは航空機向け部材が増加の一方、設備や工具が減少。化成品は堅調
 <生活産業> 配管建設は資材・エネルギー関連や分譲マンションが増加。食品は鶏肉・水産物が増加

鉄鋼

(鉄鋼、特殊鋼)

情報・電機

(エレクトロニクス、非鉄金属)

産業資材

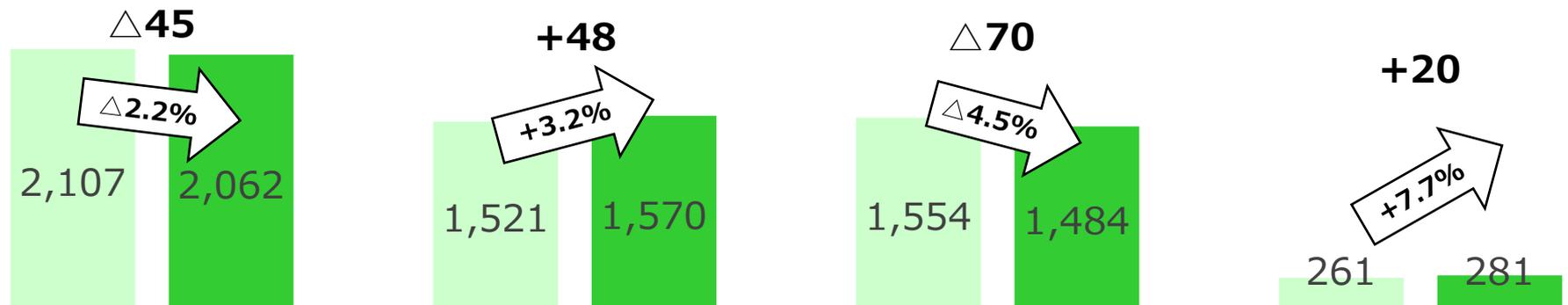
(メカトロ、化成品)

生活産業

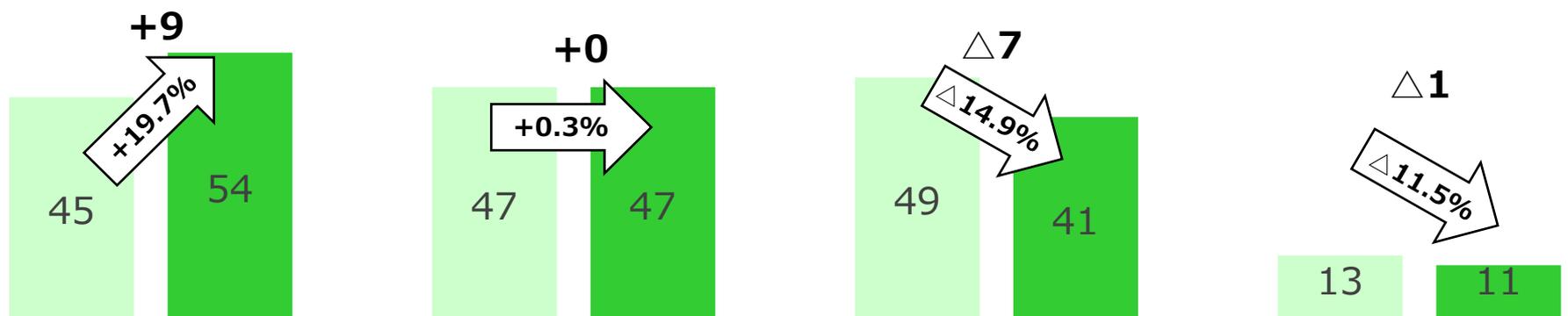
(配管建設、食品)

(単位：億円)

<売上高>



<営業利益>



■ 令6年2月期 中間期

■ 令7年2月期 中間期

1. 連結経営成績<売上高内訳>

- ・主に情報・電機セグメントにおいて輸入取引が増加し、海外取引比率は1.2ポイント増の35.0%
- ・向け地別では国内・欧米他向けが増加の一方、アジア・中国向けが減少

単位：億円

取引形態別		令和6年2月期 中間期		令和7年2月期 中間期		前期比増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
取引形態別	国内取引	3,604	66.2%	3,508	65.0%	△95	△2.7%
	海外取引（*）	1,840	33.8%	1,889	35.0%	+48	+2.7%
	合計	5,445	100.0%	5,398	100.0%	△47	△0.9%
向け地別	国内向け	3,838	70.5%	3,872	71.7%	+34	+0.9%
	アジア向け （中国除く）	683	12.6%	610	11.3%	△73	△10.7%
	中国向け	368	6.8%	317	5.9%	△51	△13.9%
	欧米他向け	554	10.1%	597	11.1%	+42	+7.7%
	合計	5,445	100.0%	5,398	100.0%	△47	△0.9%

※単位未満を切捨てて表示しており、増減額が一致しないことがあります。

*海外取引＝海外売上高に輸入品売上高を加えたもの

2. 連結財政状態

- ・当中間期末の総資産は前期末比149億円増の8,519億円
投資有価証券評価差額が減少した一方、配管機器事業の譲受けにより増加
- ・自己資本比率は2.2ポイント減の44.0%

単位：億円

	令和6年2月期 期末	令和7年2月期 中間期末	前期比増減
総 資 産	8,370	8,519	+149
(流 動 資 産)	4,746	4,964	+218
(有 形 固 定 資 産)	620	761	+140
(投 資 有 価 証 券)	2,415	2,180	△235
(そ の 他 の 固 定 資 産)	587	613	+25
負 債	4,326	4,583	+256
(流 動 負 債)	3,348	3,657	+308
(固 定 負 債)	978	925	△52
純 資 産	4,043	3,936	△106
自 己 資 本 比 率	46.2%	44.0%	△2.2%
有 利 子 負 債	1,550	1,786	+236

※単位未満を切捨てて表示しており、増減額が一致しないことがあります。

3. 株主還元

・当社は、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としています

□配当予想

単位：円

	令和3年2月期 実績	令和4年2月期 実績	令和5年2月期 実績	令和6年2月期 実績	令和7年2月期 予想
第 2 四 半 期 末	135	115	120	125	135
期 末	115	120	125	135	(67.5)
年 間 配 当	225	235	245	260	(-)

※ 令和6年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。
株式分割を反映しない場合の令和7年2月期期末の配当金予想は135円、年間配当金は270円であります。

□株主優待（一般株主様向け優待）

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
愛知県産米 山の幻ミネアサヒ 5Kg	400株以上	8月末	10月下旬
	200株以上	2月末	4月下旬

※ 令和6年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。
株式分割実施後の条件は表の通りであります。

□株主優待（長期保有株主様向け優待※）

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
図書カード 2,000円相当	200株以上	8月末	10月下旬
		2月末	4月下旬

※1 一般株主様向け優待に加え、半期毎(2月末及び8月末)に発行される最終株主名簿に、同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件として贈呈いたします。発送は通常の株主優待とは別送となります。

※2 令和6年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。
株式分割実施後の条件は表の通りであります。

4. 設備投資

・当中間期の設備投資額は賃貸用資産やシステム関連を中心に49億円
 通期では140億円を計画

単位：百万円

	令和7年2月期 中間期（実績）	令和7年2月期 （予定）
設備投資額	4,964	14,000
<主な内容>	<主な内容>	<主な内容>
物流倉庫 増改築等	137	460
賃貸用資産 設備	2,075	4,350
事務所 設備・土地等	287	1,100
工場設備（海外）	157	1,000
工場設備（国内）	541	1,840
金型	337	700
システム関連	1,287	3,790
車両運搬具	89	280
その他	54	480
減価償却費	2,352	4,975

5. トピックス

年月	内容
令和6年 3月	<u>健康経営優良法人 2024 認定</u> 4年連続で、「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に認定されました。グループ各社も認定に向けた取り組みを行い、国内全ての連結子会社が認定されました。
4月	<u>岡谷鋼機名古屋公会堂（愛称）の開始</u> 名古屋市公会堂の愛称「岡谷鋼機名古屋公会堂」の使用が4月1日より開始されました。国の登録有形文化財でもある名古屋市公会堂の保護ならびに地域の芸術文化の振興、福祉の向上に貢献してまいります。
7月	<u>チャリティーコンサートの開催</u> 12回目となる「OKAYAチャリティーコンサート 2024 ～感謝の夕べ～」を開催しました。チケット売上金とマッチングギフト、来場者からの募金を合わせ、約380万円を愛知県共同募金会へ寄付しました。
8月	<u>桑名金属工業株式会社 設立</u> 株式会社プロテリアルの配管機器事業を譲り受け、8月1日より事業を開始しました。伝統と信頼のある同事業を継承し、ものづくりを通じて社会インフラの整備に貢献してまいります。
4・8月	<u>義援金寄付</u> 国内外グループ会社とともに、台湾東部地震、山形県を中心に発生した令和6年7月大雨被害による被災者に対し、義援金を寄付しました。

ものづくりに貢献する
グローバル最適調達パートナー
岡谷鋼機株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予測は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、実際の業績等は様々な要因により変更される可能性があります。当社は新しい情報、将来の出来事に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。